

埼玉佛教

令和4年1月 第229号

令和4年1月7日 発行

No.229

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂4-13-18

一般財団法人 埼玉県佛教会

電話 (048) 861-2138

FAX (048) 864-6649

発行人 倉持 秀裕

http://saibutu.net

印刷所 関東図書株式会社

第42回埼玉県佛教徒大会

大会テーマ 『一步前へ どんな困難も必ず乗り越える』

歩み続ける力
人生のエッセンスを届けて
フユキ・三浦 雄一郎氏



記念法楽

目次

新年挨拶	2
令和3年度第2回理事会	2
歳末助け合い募金	3
令和3年度	3
宗教学者研修会のご案内	3
仏教文化講座の中止のお知らせ	3
第42回埼玉県佛教徒大会	4
御受彰おめでとうございます	7
地区仏教会だより	
・川越市佛教会	8
・妻沼仏教会	8
トピックス	
・埼玉県宗教学連盟「平和の祈り」	8
・埼玉同宗連「第51回研修会」	9
・「第22回県知事県議会議長要請行動」	10
・「狭山事件の再審を求める市民集会」	10
・「第41回埼玉人権フォーラム」	10
・埼玉県との関係課交渉	10
年賀名刺広告	11
計報	12
事務局日誌	12
令和3年《秋の叙勲・褒章》	12
編集後記	12

新年挨拶

一般財団法人埼玉県佛教会

会長 倉持 秀裕



新年あけましておめでとうござい
ます。

さて、令和二年春から続きま
す新型コロナウイルスによる混
乱は未だ終熄の気配を見せませ
ん。生活習慣の変化や行事の中
止、延期など大きな変化をもた
らしております。

そのような状況下でございま
すが、昨年は十一月十五日に毛
呂山町ウィズもろやまホールに
て第四十二回埼玉県佛教徒大会
が開催されました。感染対策を
徹底して、入場時の検温、消毒
や会場では座席の間隔を空ける
などの対応をいたしました。お

陰様をもちまして、大過なく成
功裏に円成いたしましたこと関
係者各位に感謝申し上げます。

一方の柱の行事となります埼玉
県各流讚佛歌奉詠大会はお唱え
することが主となるため、残念
ながら中止とさせて頂いてくださ
りました。

本年は少しずつ行事などが通
常に戻ることを期待しておりま
すが、まだまだ油断は禁物であ
ります。少しでも早く終熄を迎
えられますよう祈念しておりま
す。

また、昨年末県内寺院を狙つ
た窃盗が頻発している旨、埼玉
県警察から報告がありました。
このような時期の犯行に憤り禁
じ得ませんが、皆様方には充分
に防犯対策を強化いただき、被
害が広がらないようにご協力い
ただけでは幸いです。

コロナ禍において寺院を取り
巻く環境や儀式の簡略化など
様々な問題点も徐々に浮かんで
まいりました。今、この状況で

出来ること、また、終熄後にど
のような対処していくか、一寺
院だけでなく地域の寺院が情報
意識を共有して進んで行くこと
が、非常に重要になると考えら
れます。当会といたしましたも
情報の共有や研修会等を開催し
て、各寺院が、いち早く順応で
きますよう努めてまいりたい所
存です。

最後となりますが、皆さまが
苦しい時期とは存じますが、出
来る範囲で行事、儀式を執行し、
檀信徒の皆さまにも安心感を与
え、共にコロナ禍を乗り越えら
れますよう切に願います。
本年が稔り多い一年になるこ
とを祈念申し上げ、年頭の挨拶
とさせていただきます。

合掌



令和3年度第2回理事会

令和3年12月6日(月)、10時
30分から埼玉佛会館において、『令
和3年度第2回理事会』が開催
された。出席者は理事14名監事
1名。コロナ禍の影響で本年度
の参集しての会議はこれが初め
てとなった。

議事では今年度の事業につい
て協議され、新年懇親会及び例
年2月に開催されている仏教文
化講座の中
止が決定さ
れた。令和
4年度以降
の事業につ
いても新型
コロナウイ
ルス感染状
況に応じ、
慎重に事業
の実施等の
判断をして
いくとした。



歳末助け合い募金



去る令和3年12月6日(月)、埼玉佛会館において、歳末助け合い募金として60万円を埼玉県共同募金会に寄託しました。なお、その内の50万円は更生保護施設清心寮に指定寄附をいたしました。
会員寺院の皆さまにご協力をいただいております「埼玉県佛教徒募金」から毎年、寄託しています。

令和3年度 宗教法人研修会のご案内

- (1) 埼玉県における基本的な事務手続について (学事課・45分)
- (2) 県政出前講座「子供の貧困って?埼玉県にも困っている子供たちがいます」
(少子政策課・60分)



令和4年2月8日(火) 川越会場 川越地方庁舎4階 大会議室

令和4年2月14日(月) さいたま会場 埼玉佛会館1階 多目的ホール

時間 13:30~15:50

お問合せ先 埼玉県総務部学事課 総務・宗教法人担当

電話 048-830-2568

仏教文化講座中止のお知らせ

令和3年度 仏教文化講座は新型コロナウイルス感染防止のため、中止といたします。

第42回埼玉県佛教徒大会

◇令和3年11月15日(月)、ウィズもろやま(福祉会館)大ホールにおいて第42回埼玉県佛教徒大会が開催された。今大会は越生毛呂山仏教会(渋谷辨洋会長)が主管となり、埼玉県西部地区佛教会が後援した。

大会テーマは、「一歩前へ どんな困難も必ず乗り越える」で参加者は県内外各地から約300名、大会の総合司会は、城所直久師(多門寺・智山)が務めた。

司会の開会のことばにより開会。越生里神楽保存会の皆さまによる神楽奉納の公演、続いて記念法楽が厳修され、倉持秀裕会長が主催者のあいさつを行った。続く来賓あいさつでは、全日本仏教会事務総長の木全和博

師からごあいさついただいた。

記念講演では、講師に80歳世界最高齢でエベレスト登頂のプロスキーヤー、冒険家の三浦雄一郎氏と、次男三浦豪太氏を迎え『神仏を感じ、神仏を信じて』と歩き続ける力と人生のエベレストを目指してと題し、ご講演いただいた。三浦雄一郎氏は80歳で2013年エベレスト登頂、86歳アコンカゲア挑戦、88歳富士山5合目で東京五輪大会聖火を運ぶなど、数々の前人未踏の挑戦を達成され、臨場感あふれる記録映像上映と大変貴重なエピソードを熱心に語られた。

大会の結びに、越生毛呂山仏教会の渋谷辨洋実行委員長から謝辞が述べられ閉会となった。

『県佛大会義援福祉募金報告』

第42回埼玉県佛教徒大会の開催当日、参加の皆さまからお預かりした義援福祉募金の合計金額は101,000円になった。募金は越生毛呂山仏教会から、越生町社会福祉協議会、毛呂山町社会福祉協議会へ寄託し、社会福祉事業に役立てていただく。



越生里神楽



県佛大会 受付



三浦豪太氏



三浦雄一郎氏



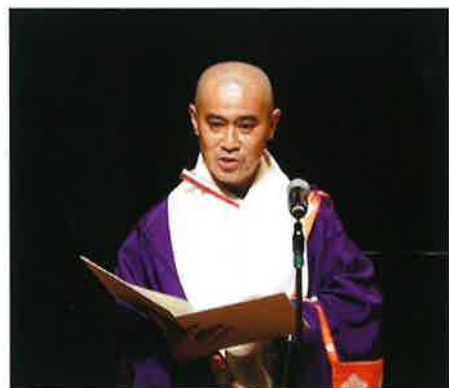
豪太氏と登場



倉持秀裕会長



全日本仏教会
木全和博事務総長



渋谷実行委員長

心地よい緊張感を保ちながら、舞台袖で出番を待つ。舞台中央では、講師・三浦雄一郎先生方のエベレスト登頂時の映像が流れ、その後、雄一郎先生が車椅子で講演。
会場から驚きのような「？」とした空気が流れるも先生は、意に介さず、堂々と威厳を持って話し始める。

「最後に実行委員長の渋谷辨洋から御礼の挨拶でございます

司会・城所師のアナウンス
「最後に実行委員長の渋谷辨洋から御礼の挨拶でございます

怖い！数々の難事に挑戦され、その都度、乗り越え、更に次へ、次へと目標を定め、万事を達成された方の迫力に圧倒される。世界に名を連ねる方の威風を感じ。想像していたものを遥かに超える感動を覚える。
崇高な雄一郎先生のお話からご子息・豪太先生へバトンが渡された。一転、朗らかに笑いを交えながら、会場を更に一つにされた。やはり凄い！親子の素敵な共演に客席は大いに盛り上がり、そして終幕へ。時刻は三時五十八分頃であったと記憶している。

県佛大会を終えて

第四十二回埼玉県佛教徒大会実行委員長
越生毛呂山仏教会会長

渋谷 辨洋

す。」が流れる。

三浦雄一郎先生・豪太先生が盛り上げてくださったステージへ、出来る限り胸を張り「ヨシっ！」と気合を入れて歩を進める。

数歩進んだ時、「よっ！」と聞きなれた先輩の声が耳に入った。ありがたい！テンションが上がってきたぞ！絶好調だ！と自分に言い聞かせ、謝辞を述べ始める。

顧みますこと四年前。平成二十九年六月二十四日、越生毛呂山仏教会総会において、当会会長職を拝命いたしました。直後の懇親の席で冗談交じりに「自分が会長になったからには、佛教徒大会を地元で開催したいと思います！」と酔いに任せて声を発してしまったことが発端であつたと思われます。

自分でさえ忘れてかけていた言を鮮明に記憶していた当会会長が一人おりました。後年、そ

の彼が「渋谷さん、次期佛教徒

大会は西部地区担当ですが、今のところ候補地が決まっていないうそですよ。」と笑顔で語り掛けてきました。「えっ？」と自分。「チャンスですよ！やりましょうよ！」と彼。酔っていても発言したことは事実。正直、自分自身は後に引けない感の中、当会総会で語り、会員総意の下、次期開催へ。

その後、懇親を深めながら、令和二年十月二十二日の開催を目指し、少しずつ準備を重ねてきました。ところが…。

最後の御礼の言葉を述べ終えて、三浦雄一郎先生、豪太先生がいらっしゃる舞台袖へ感謝を込めて、低頭。最後までご臨席をいただきました、会場の皆様様にも低頭。ありがたいことに割れんばかりの拍手をいただく。込み上げてくるものを堪えて、最後まで堂々と！と再び自分に言い聞かせ、更に胸を張り、舞

台袖へ下がる。

種々困難もありましたが、今大会を通してご縁をいただきました、三浦雄一郎先生、豪太先生、越生里神楽保存会の皆様、全日本佛教会事務総長・木全和博様、同広報文化部次長・平井敦夫様、協賛広告をいただきました企業・業者の皆様、埼玉県佛教青年会の皆様、埼玉県佛教会会長・倉持秀裕様はじめ、埼玉県佛教会事務局長・金子嘉広様はじめ、事務局の皆様、三浦清志様、ウイズもろやまのスタッフの皆様、ご来場の皆様様等々、ご縁をいただきました、大勢の方々にただただ感謝するばかりでございます。

末尾になりますが、この紙面をお借りして、地元の仲間、安西研昌師、安西昌剛師、城所直久師、城所希帆尼、荻野美光尼、齊藤隆聖師、椎葉紋弘師、内山晶文師、増尾實道師、曾根脩一

師、山田克昌師、藤田光信師、

萩原裕史師、小川秀隆師の面々に改めて深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。お疲れさまでした。

「一度受けたら、また引き受けたくなる！」そんな佛教徒大会でした。



県佛大会 客席



御受彰おめでとうございます



第68回埼玉県更生保護大会

全国更生保護法人連盟理事長表彰

加藤 玄静 師

(本庄・城立寺)

法務大臣表彰

関東地方更生保護事業連盟会長表彰

山口 正純 師

(川口・密蔵院)

埼玉県内寺院を狙った窃盗が 多発しています

埼玉県警察本部捜査三課から次の通り、緊急の呼びかけがありました

昨年（令和3年）6月頃より埼玉県西部・北部地区を中心に寺院をねらった窃盗が多発しております。主な手口は本堂及び廊下（回廊）などのガラス戸を破り侵入し、寺務所や庫裡の金銭を奪うものです。中には金庫が破られた例もあります。犯行時刻は午後10時頃から翌朝6時頃が主になっています。

県内寺院の皆さまには、次の点に注意いただき防犯に努めていただければ幸いです。

①窓ガラスの防犯強化

- 防犯フィルムを（施錠部に）貼る
- 二重ロックをする（錠を増やす）

②人感センサーを活用する

- 人感センサー式の照明やベルを設置する

③本堂、廊下、寺務所、庫裡の通用口の扉の施錠を二重にする

④境内照明を増設する

⑤金庫を固定する

- 金庫を転がし、扉を上向きにすると破りやすくなるため

⑥大きな金額を保管する場合は庫裡に保管する

- 大きな金額（現金）は保管しない【預金措置・分割保管】

防犯器具は100円ショップやホームセンターなどで取り扱っています

宗教法人の所轄庁への提出書類期限について

会計年度終了日が12月31日の法人は令和4年3月31日が提出期限となります。

地区仏教会だより

研修会

「川越祭と川越の寺院」

川越市佛教会

令和三年十月二十八日（木）

メモリードアネットワークスホール川越において「川越祭と川越の寺院」研修会が開催された。主催は川越市佛教会（石村晃龍会長）参加は二十一カ寺、二十名。

講師は川越氷川神社宮司山田禎久氏来年度市政百周年を迎える川越市最大の行事である「川越祭」と寺院との関わりを歴史的に考察し、今後の寺院のあり方を考える一助とする。

川越氷川神社は今から約千五百年前、欽明天皇二年に創建されたと伝えられる。室町時代の長禄元（一四五七）年、大道真、道灌父子によって川越城が築城されると、城の神門の方角に当社が鎮座していたことを畏

怖し、城内、城下の守護神として崇敬された。江戸時代に入ると、城主には幕府の大老、老中などの有力大名が配置された。

慶安元（一六四八）年、時の城主松平信綱は当社に神輿、獅子頭などの祭具を寄進、それまでの例大祭に合わせて江戸の天下祭の様式に則した神幸祭を催すことを奨めた。元禄十一（一六九八）年、神幸祭に随行する形で初めて踊り屋台が出たのをきっかけに、年々催し物が増加し賑やかな附け祭りの体裁が整い、現在に至る。

寛政六（一七九四）年の神幸祭の引渡道順によると、市内寺院の門前を通って神霊の御幸が行われたことがわかる。また、文久二（一八六二）年高沢町「祭礼趣法」によると、祭礼日には、寺の境内で芸の披露が行われていた。

このように、江戸時代までは、神社の祭礼と寺院との結びつきが強く共に行っていた様子があ

かがえる。

山田宮司のお人柄と熱の籠もったお話に、参加者一同その内容に引き込まれ、とても参考になりました。

（報告 会長石村晃龍）



戦没者慰霊祭

妻沼仏教会

令和3年9月29日（水）、歡

喜院において第61回戦没者慰霊祭が、妻沼地区遺族会地区代表

など17名の参加で行われた。



ト
ピ
ツ
ク
ス

「埼玉県宗教連盟」

「平和の祈り」

令和3年11月9日（火）、埼玉

県宗教連盟主催（齊藤佳佑理事長）が毎年開催している『平和の祈り』が今年もカトリック川越教会を会場に開催された。五



教宗派団体の祈りが厳修され、昨年同様、会場内はコロナウイルス対策として例年の半数以下の参加制限、祈祷時間の短縮、祈祷以外のマスクの着用をお願いした。

当会からは、加藤玄静副会長、深谷雅良専務理事、渋谷辨洋代議員、萩原裕史師、吉川正人師、中学2年生の渋谷芳佳さん、大應寺から津田師、藤井師、新村師、小河原師、事務局から金子嘉広事務局長、大塚美紀書記、

福原精主事補が参加した。

「埼玉同宗連」

「第51回研修会」

令和3年12月7日（火）午後

1時30分より「第51回研修会」が埼玉佛会館多目的ホールで開催された。今回の研修会は新型コロナウイルス感染症対策として委員および代議員に限定し、約20名が参加した。昨年度は新型コロナウイルス感染症が蔓延していたことにより開催を見送ったため、約1年半ぶりの研修会となった。

講師に部落解放同盟埼玉県連合会の小野寺一規書記長をお招きし、「『全国部落調査』復刻版出版事件裁判判決を迎えて」判決の評価と問題点・今後の課題」を演題にご講演いただいた。開会行事では、中村達榮委員（天理教）が開会のことばを述べ、続いて主催者を代表して春

日英明議長（曹洞宗埼玉県第一宗務所）があいさつを行った。

その後、部落解放同盟埼玉県連合会書記長の小野寺一規氏から来賓あいさつをいただき、そのままご講演という流れで進んだ。

講演では、「全国部落調査」

復刻版出版事件についての概要、裁判の経過、裁判に訴えた理由など具体的にわかりやすくご説明いただいた。2016年2月5日に「鳥取ループ・示現舎」がホームページ上に、「全国部落調査 部落地名総監の原典

復刻版」と題した書籍を発行・販売すると掲載し、ネット上で都道府県別の地名一覧が閲覧できるようになり、ほかのサイトにも転載されたこの事件は、今年9月27日に出版・公開の差し止めや損害賠償を求めた訴訟の判決が東京地裁であった。

今後の課題として、東京地裁の「地名掲載違法」判決を積極的に活用し、裁判闘争の報告会・学習会の開催、モニタリング



事業の効果が上がる取り組み、民間インターネット事業4団体に対する削除要請、部落差別動画・削除仮処分申し立ての取り組み、「解消法」一部改正などの禁止事項と罰則規定を盛り込んだ法整備、同和教育・啓発の推進などの活動を続けていくことなどが説明され、講演は終了。質疑応答の後、光栄澄人副議長（天台宗）が謝辞と閉会のことばを述べて閉会となった。

「第22回県知事・ 県議会議長要請行動」

令和3年10月21日（木）、人権教育・啓発推進埼玉県実行委員会（倉持秀裕会長）は、「第22回県知事・県議会議長要請行動」を県知事公館で実施した。7郡市代表の首長・議会議長など27人が参加した。知事公館で行われた要請行動では要請団を代表して本会の倉持秀裕会長が挨拶を行い、「コロナ禍では、感染者や医療従事者への差別など人権侵害もおこっている。人権が尊重され、思いやりにあふれた住みよい社会づくりのため、積極的な取り組みをお願い申し上げます。」と述べて、大野元裕知事に要望書を手渡した。県議会議事堂では梅澤佳一・県議会議長に要望書を手渡した。最



県知事要請行動

後に、「埼玉同宗連」議長の春日英明師の挨拶で行動を閉じた。

「狭山事件の再審を求める 市民集会」

令和3年10月29日（金）、13

時から日比谷野外音楽堂で狭山事件の再審を求める市民集会が2年ぶりに開催された。全国各地の支援者約1000人が参加した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集会及びデモ行進は縮小されて行われた。「埼玉同宗連」から議長の春日英明師、相談役の藤井壽雄師が参加した。全体集會に先立って、埼玉県の独自集會が行われ、再審勝利に向けて意思統一を図った。ミニコンサート、主催者挨拶、再審請求人の石川一雄さん・早智子夫人によるスピーチ、弁護士報告、基調提案、連帯アピール、市民の会アピール

会アピール



「第41回埼玉人権フォーラム」

令和3年11月5日（金）、坂戸市文化会館で「第41回埼玉人権フォーラム」が集會テーマ「コロナ禍をのりこえ、世界のひとびとと共に人権運動の輪を広げ、平和と人権の21世紀を創造しよう」を掲げて開催された。「埼玉同宗連」からは約30名が参加し、全体としては解放同盟をはじめ行政、教員、企業を含めて約490名が参加した。

全体会では、解放同盟埼玉県連書記長の小野寺一規氏が「日本における人権の現状と解放運動の課題」と題して基調報告を行い、続いて、敬和学園人文学部・藤野豊教授が『全国水平社創立100年を迎えて「水平社運動から何を学ぶか」』と題して記念講演を行った。午後は5分科会で報告と講演

が行われた。

第2分科会

「人権啓発

活動の課

題」におい

て「埼玉同

宗連」相談

役の藤井壽

雄師（浄土

真宗本願寺

派）から「浄土真宗本願寺派の

取り組みについて」の報告がな

された。また、「埼玉同宗連」

春日英明議長（曹洞宗）が助言

者を務めた。

埼玉県との関係課交渉

去る11月25日、人権教育・啓発推進埼玉県実行委員会はいたま市「あけぼのビル会議室」において、10月21日に埼玉県知事並びに県議会議長に提出した「埼玉県の人権施策に関する要望書」について、埼玉県の関係各課と事務折衝を行った。「埼玉同宗連」からは春日英明議長と金子嘉広事務局長が参加した。



埼玉人権フォーラム

<p>(一財)埼玉県佛教会 副会長 本庄市 城立寺住職</p> <p>加藤 玄 静</p> <p>〒367-0052 本庄市銀座3-4-7</p>	<p>(一財)埼玉県佛教会 会長 真言宗智山派 三学院住職</p> <p>倉持 秀 裕</p> <p>〒335-0001 蕨市北町3-2-4 電話 048-443-2125 FAX 048-443-2544</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: center;">謹賀新年</p> <p style="text-align: center;">本年もよろしく お願い申し上げます</p> <p style="text-align: right;">合 掌</p>	
<p>天台宗 東泉寺 住職 (一財)埼玉県佛教会 常務理事</p> <p>河野 亮 玄</p> <p>〒330-0044 さいたま市浦和区瀬ヶ崎1-15-13 TEL 048-886-4151</p>	<p>(一財)埼玉県佛教会 常務理事</p> <p>山口 正 純</p> <p>〒334-0057 埼玉県川口市安行原二〇〇八 密蔵院</p>	<p>(一財)埼玉県佛教会 専務理事 水光山大應寺 住職</p> <p>深谷 雅 良</p> <p>〒354-0011 埼玉県富士見市水子一、七六五 TEL 049-251-5611 FAX 049-251-5601</p>	<p>(一財)埼玉県佛教会 副会長</p> <p>糸原 恒 久</p> <p>自坊 蓮馨寺</p> <p>〒350-0066 川越市連雀町七番地一 電話 049-231-0043 ファックス 049-226-0676</p>
<p>親鸞聖人旧跡 浄土真宗本願寺派</p> <p>楠井山 清 浄 寺</p> <p>住職 藤井 壽雄</p> <p>〒342-0045 埼玉県吉川市木売一〇一五 電話 048-981-6000 FAX 048-981-6080 JR武蔵野線「吉川」駅南口三分</p>	<p>真言宗豊山派</p> <p>観 照 院</p> <p>〒343-0851 越谷市七左町七-二七八 TEL 048-962-5695 FAX 048-962-5696</p> <p>住職 鷺津 憲 道</p>	<p>玄奘三蔵法師霊骨奉安 坂東十二番 慈恩寺</p> <p>住職 大 嶋 法 道</p> <p>〒339-0009 さいたま市岩槻区慈恩寺一三九 電話 048-794-1354 FAX 048-794-1374</p>	<p>(一財)埼玉県佛教会 常務理事</p> <p>曹洞宗 寶持寺</p> <p>住職 馬 場 知 行</p> <p>鴻巣市箕田二〇三四 TEL 048-596-0729 FAX 048-596-7724</p>
<div style="border: 2px dashed red; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">埼玉県佛教保育協会 第37回埼玉県佛教幼児画展</p> <p>《日時》 令和4年1月15日(土) 13時~17時 1月16日(日) 10時~16時</p> <p>《場所》 埼玉会館・第3展示室 [浦和区高砂3の1の4]</p> <p style="text-align: right;">※入場自由</p> </div>		<p>(一財)埼玉県佛教会 理事 天台宗 慶福寺 住職</p> <p>関 口 亮 樹</p> <p>〒349-0115 蓮田市蓮田四-1-04 電話 048-768-1537 FAX 048-768-2218</p>	<p>(一財)埼玉県佛教会 理事 曹洞宗 金澤寺 住職</p> <p>宮 寺 守 正</p> <p>〒350-0305 比企郡鳩山町泉井二三七六 電話 049-290-3733</p> <p style="text-align: right;">http://kontakuji.com</p>

討報

お悔やみ申し上げます。

令和2年 12月

20日 ときがわ町眞光寺(単立)

安谷 量壽 師(99歳)

令和3年 9月

29日 松伏町妙應教会(日蓮)

小岩井照憲 師(98歳)

令和3年 10月

15日 深谷市高台院(曹洞)

後藤 高明 師(54歳)

令和3年 11月

14日 久喜市幸福寺(曹洞)

小田原光仁 師(73歳)

令和3年 12月

23日 さいたま市圓福寺

田中 隆昭 師(77歳)

23日 東松山市遊了寺

大谷 康雄 師(89歳)

事務局日誌



令和3年 10月

21日▼「人権埼玉」埼玉県への

要請行動(県議会講堂、

知事公館/倉持会長、金子事務局長)

25日▼県佛大会・打合せ(毛呂山町/金子事務局長)

27日▼県佛大会・会場下見(ウイズもろやま/金子事務局長、永堀書記、福原主事補)

29日▼「解放同盟」狭山市民集会(日比谷野外音楽堂/金子事務局長、大塚書記)

2日▼「埼玉同宗連」第2回役員会

5日▼「解放同盟」第41回埼玉人権フォーラム(坂戸市文化会館/金子事務局長、永堀書記、大塚書記、福原主事補)

9日▼「埼玉宗連」平和の祈り(カトリック川越教会)

9日▼「埼玉青」写仏

15日▼第42回埼玉県佛教徒大会(ウイズもろやま)

25日▼「人権埼玉」埼玉県との関係課交渉(浦和・あけ

ほのビル/金子事務局長)

令和3年 12月

6日▼第2回理事会(埼玉佛会館)

7日▼「埼玉同宗連」第51回研修会(埼玉佛会館)

14日▼「埼玉青」写仏

23日▼「人権埼玉」第2回幹事会(熊谷市・埼玉人権・同和センター/金子事務局長)

28日▼仕事納め

編集後記

昨年を振り返ると、新型コロナウイルスに翻弄された一年だったように思う。

国内では緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用が繰り返され、東京五輪・パラリンピックもほぼ無観客での開催となった。当会ならびに各団体についても会議や研修会が行えない状況が秋まで続いた。

宣言解除後に行われた県佛大会開催はとても意味があったと思う。人数制限を設けた開催であったが、工夫次第で出来ることを実感した。

今年には会議やイベントが盛んに行える一年になるよう希望を持ちたい (永)



叙勲・褒章、ご受章
おめでとうございます
令和3年《秋の叙勲・褒章》
瑞寶雙光章 大杉 芳功 師
(飯能市・興徳寺 更生保護功労)